

令和5年度 個別学力検査（後期日程）

筑波大学 人間学群 教育学類

「論述」問題冊子

試験実施日 令和5年3月12日

実施時間 午前10:00～11:00

〔解答上の注意〕

- 1 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題冊子1冊、解答用紙2枚、下書き用紙1枚が配布されていることを確認しなさい。問題冊子は表紙を含めて2頁あります。
- 3 解答に当たっては、指定された解答用紙をそれぞれ使用しなさい。
- 4 解答は、指示がない限り、日本語で書きなさい。
- 5 採点対象となるのは解答用紙だけです。  
下書き用紙に書かれた内容は採点の対象となりません。
- 6 質問がある場合や、気分が悪くなった場合は、手を挙げなさい。

〔回収上の注意〕

- 1 2枚の解答用紙を、問題番号順に重ねなさい。  
重ねたまま回収します。
- 2 問題冊子と下書き用紙は回収しません。持ち帰りなさい。

令和5年度 個別学力検査 (後期日程)  
筑波大学 人間学群 教育学類  
「論述」問題

【問1】

筑波大学人間学群教育学類の4つの系列(人間形成系列、教育計画・設計系列、地域・国際教育系列、学校教育開発系列)のうち、自らが特に学びたいと考える系列は何か。その系列が示す内容、およびそこで学びたいと考える理由について、200字以内で説明しなさい。

【問2】以下の文章を読み、問に対して解答しなさい。

(この部分は、著作権の都合上、公開できません)

【出典】マーサ・C・ヌスバウム著(小沢自然/小野正嗣訳)『経済成長がすべてか?—デモクラシーが人文学を必要とする理由—』岩波書店、2013年、3-4頁。(一部改変)

問

著者が考える「デモクラシーの存続に必要な<sup>スキル</sup>技術」(下線部)とは、どのようなものであろうか。その説明を行った上で、デモクラシーの存続のために、日本の初等・中等教育で児童・生徒をどのように教育していく必要があるのかについて800字以内で論じなさい。

令和5年度 個別学力検査(後期日程)  
筑波大学 人間学群 教育学類 「論述」問題  
問題訂正

【問2】の問の文中

誤 「デモクラシーの存続に必要な<sup>スキル</sup>技術」

正 「デモクラシーの存続に必要な<sup>スキル</sup>技能」